

### 平成25年1年間(1月-12月)の事故発生状況について

北陸地方整備局発注の直轄工事

#### ◆平成25年事故の特徴◆

- ☆平成25年1年間の事故件数は、「88件」と過去5年では最小。
- ☆死亡事故は発生なし。
- ☆休業4日以上は13件、労働災害事故全体の34%を占める。
- ☆労働災害38件、公衆災害46件で公衆災害の割合が増加傾向。
- ☆公衆災害は、架空線損傷事故の割合が増加。
- ☆冬期前に集中。

#### ◆平成26年にむけて◆

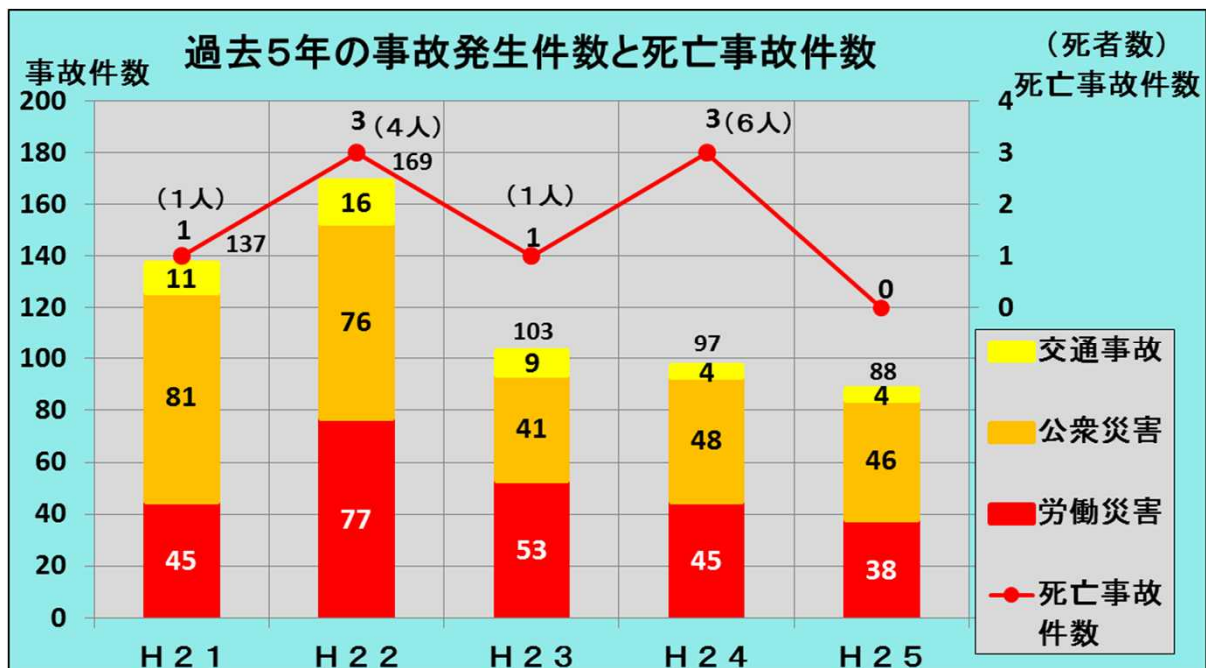
⇒さらなる事故件数減少にむけて、安全管理の徹底を！

⇒公衆災害事故の増加傾向に対して、地下埋設物及び架空線事故防止の重点化を！

### 1. 工事事故の件数

平成25年の年間(1月-12月)に発生した事故は88件で、平成21年以降では、最小の件数でした。

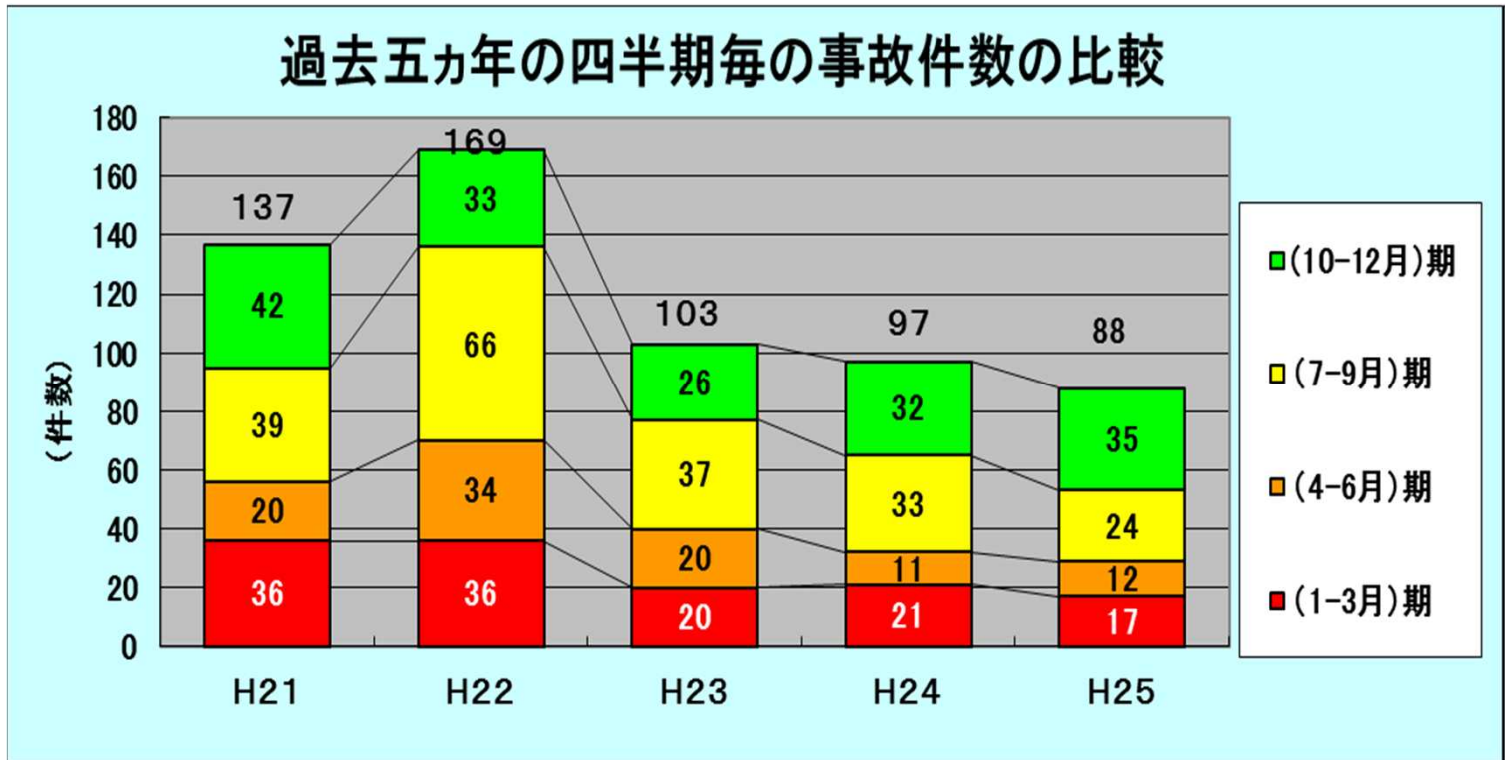
事故の内訳は労働災害38件、公衆災害46件、交通事故4件でした。



## 2. 事故発生状況

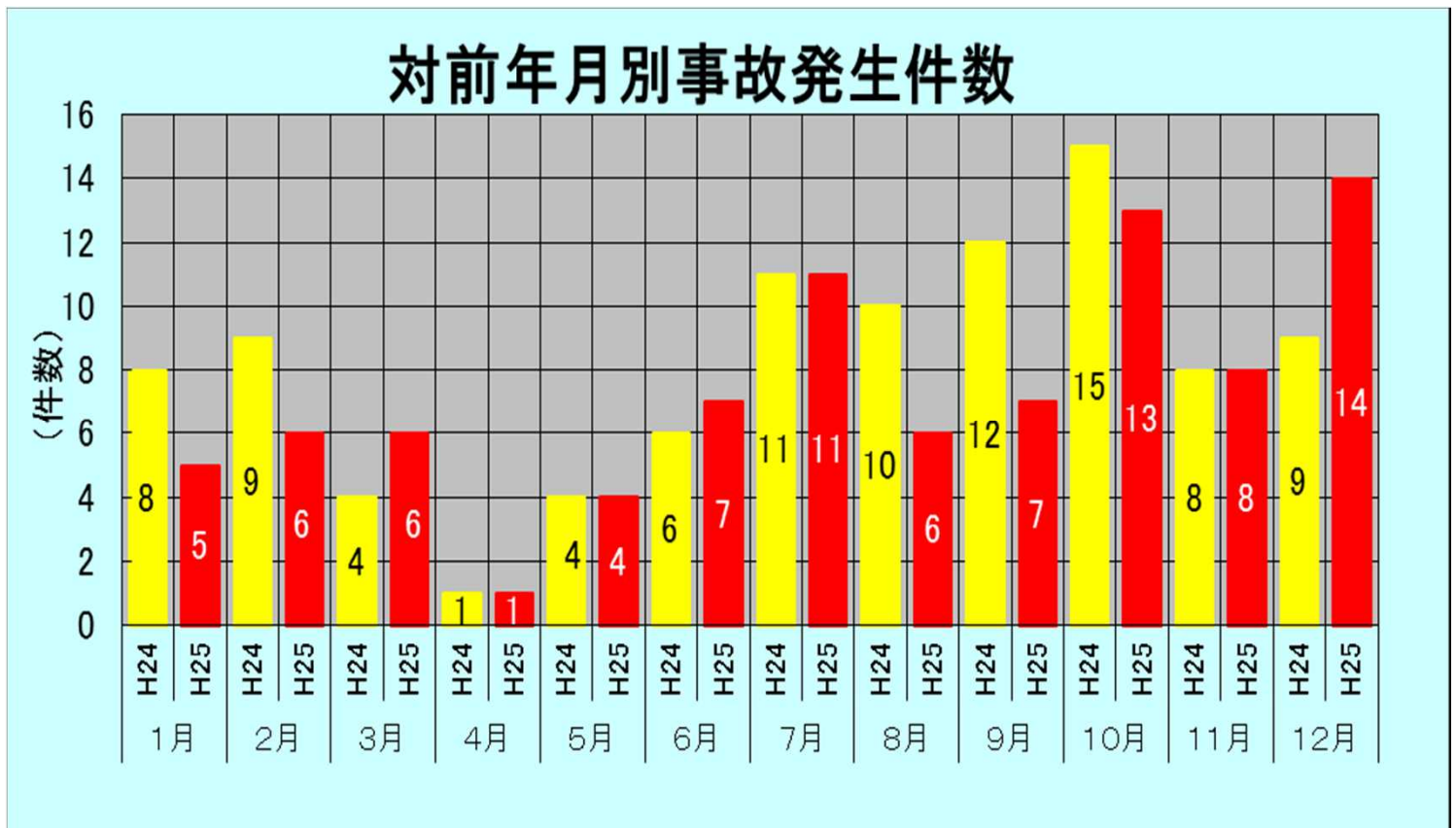
### 1) 各年の四半期毎の事故件数の推移

四半期毎の事故件数は、例年、夏場（7月－9月期）及び冬期前（10月－12月期）が多い状況にあり、H25は特に冬期前の増加が顕著です。



### 2) 対前年比の月別事故件数の比較

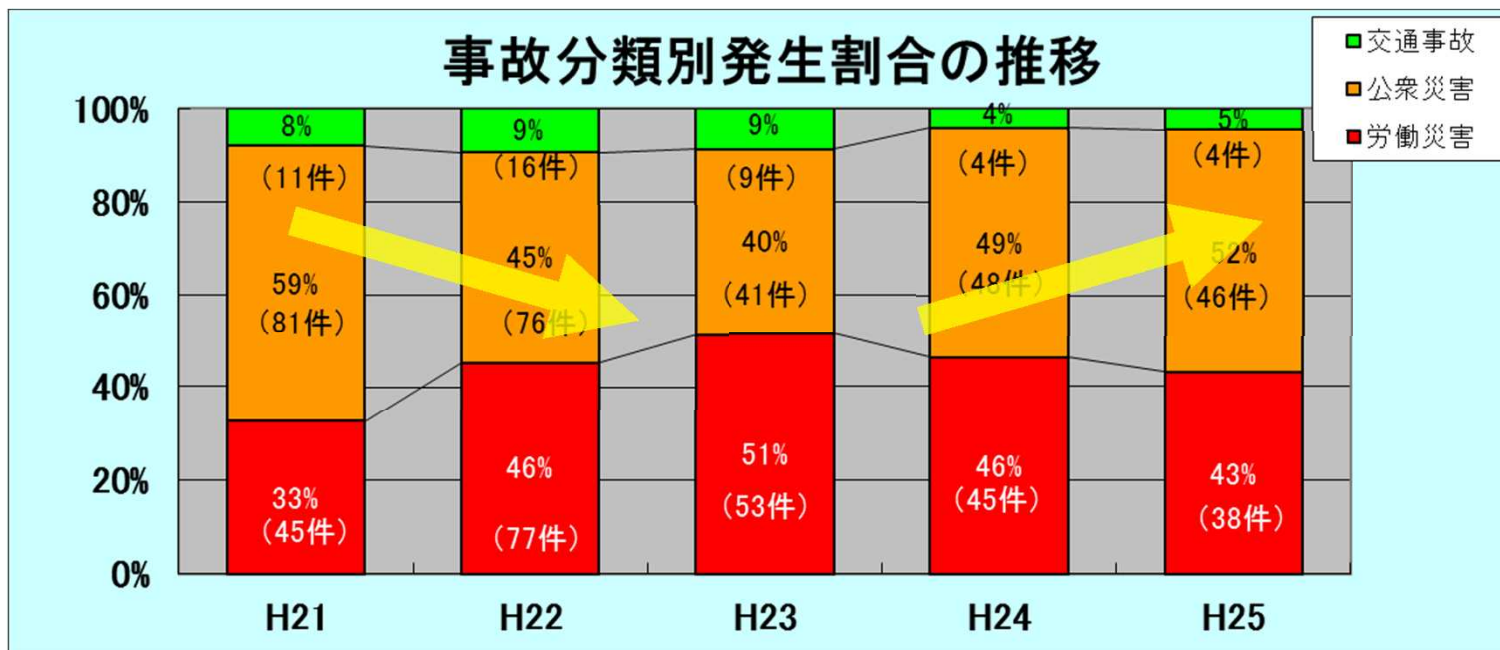
H25は、H24と比較して、3月、6月、12月が前年同月を上回る状況でした。特に12月は前年比1.6倍と多く発生しています。



### 3. 公衆災害、労働災害の事故状況

#### 1) 事故分類別発生割合の推移

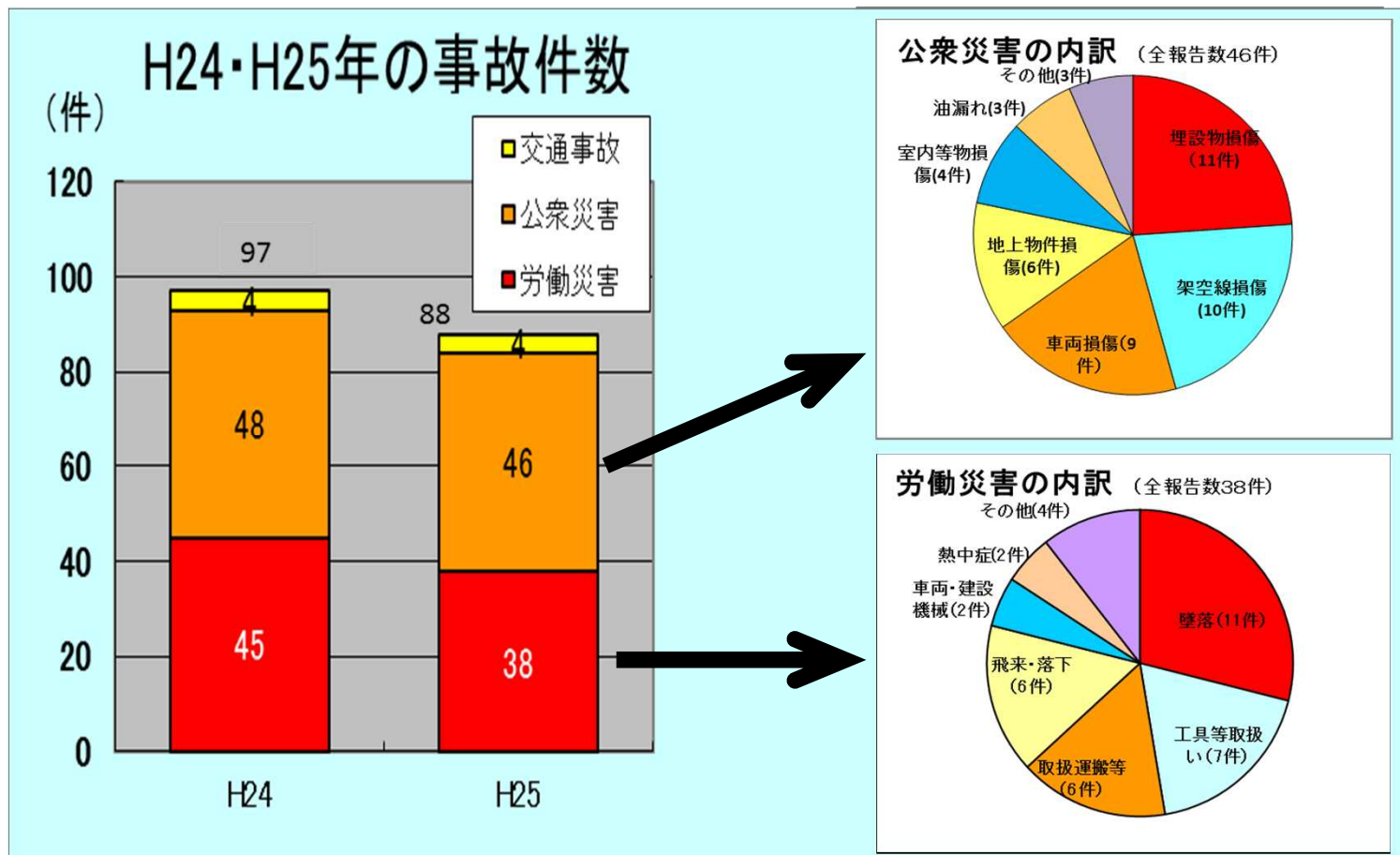
H21からの傾向として、公衆災害の割合が減少傾向であったものが、H24から公衆災害の割合が増加傾向となっています。



#### 2) 公衆災害、労働災害の事故発生原因

①公衆災害の内訳は、埋設物損傷と架空物損傷に起因する事故が多く発生しています。

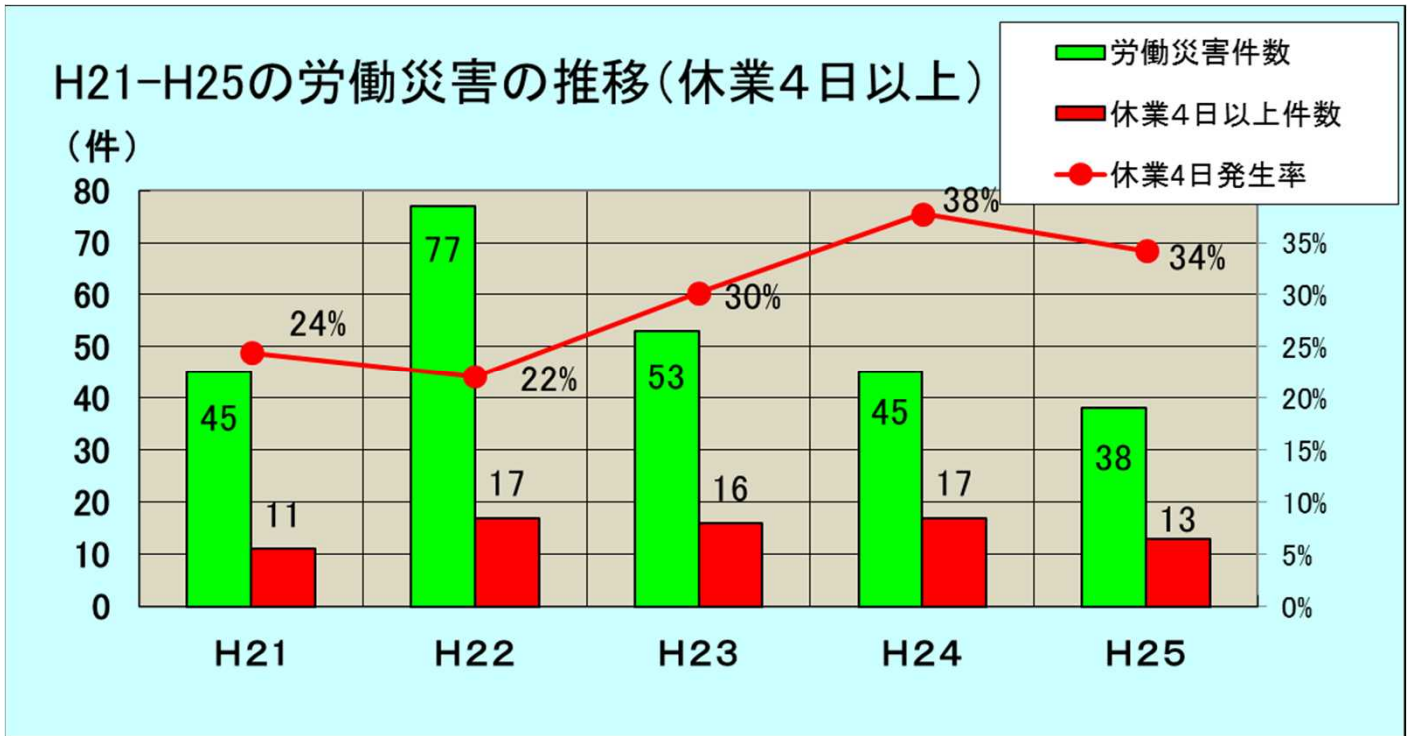
②労働災害の内訳は、墜落、工具等取扱いに起因する事故が多く発生しています。



## 4. 労働災害事故の発生状況

### 1) 休業4日以上事故発生状況

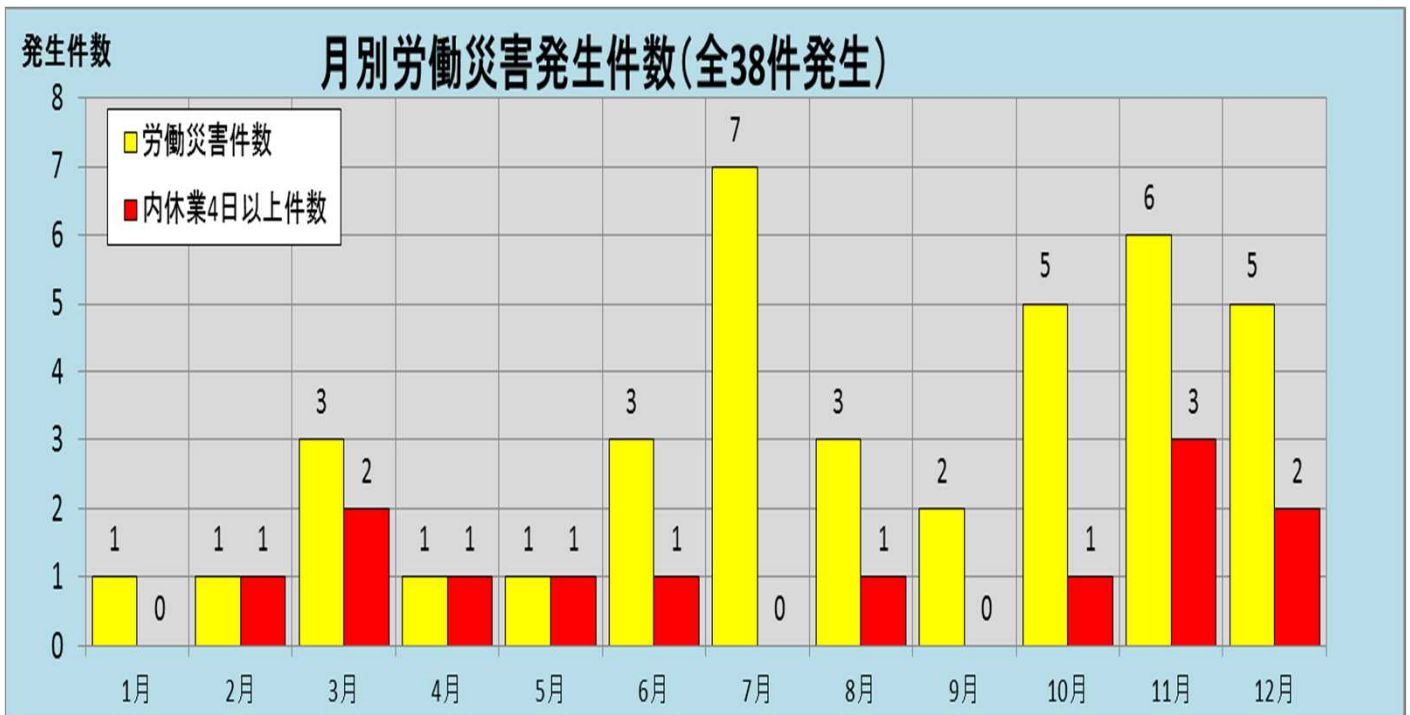
休業4日以上事故件数は13件で、労働災害事故全体に占める率は34%となり、H23より30%を超えています。



### 2) 労働災害の月別発生件数

H25は、死亡事故の発生はありません。

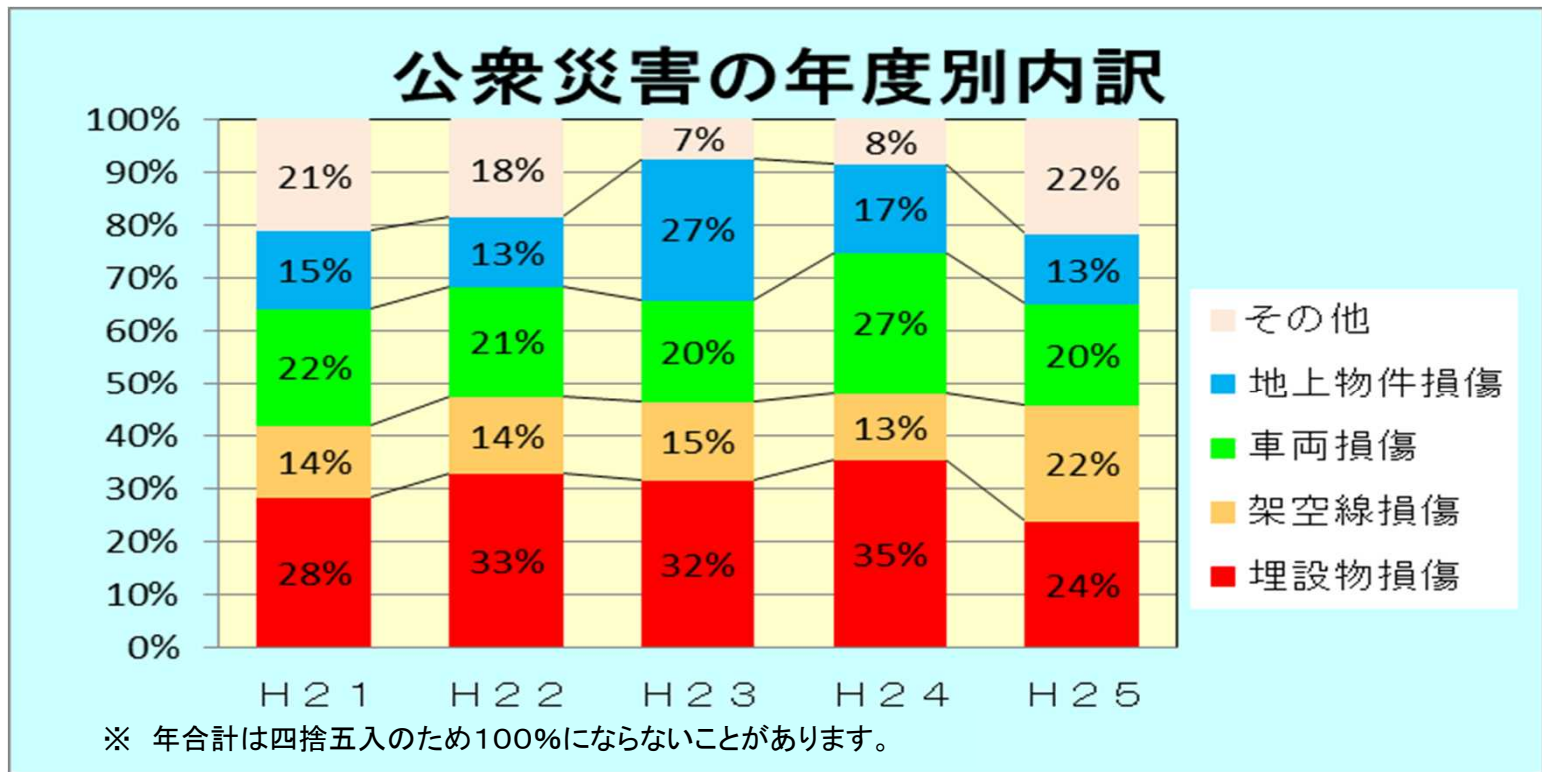
7月、10月～12月の4ヶ月に労働災害が多く発生しており、特に11月には3件の休業4日以上事故が発生しています。





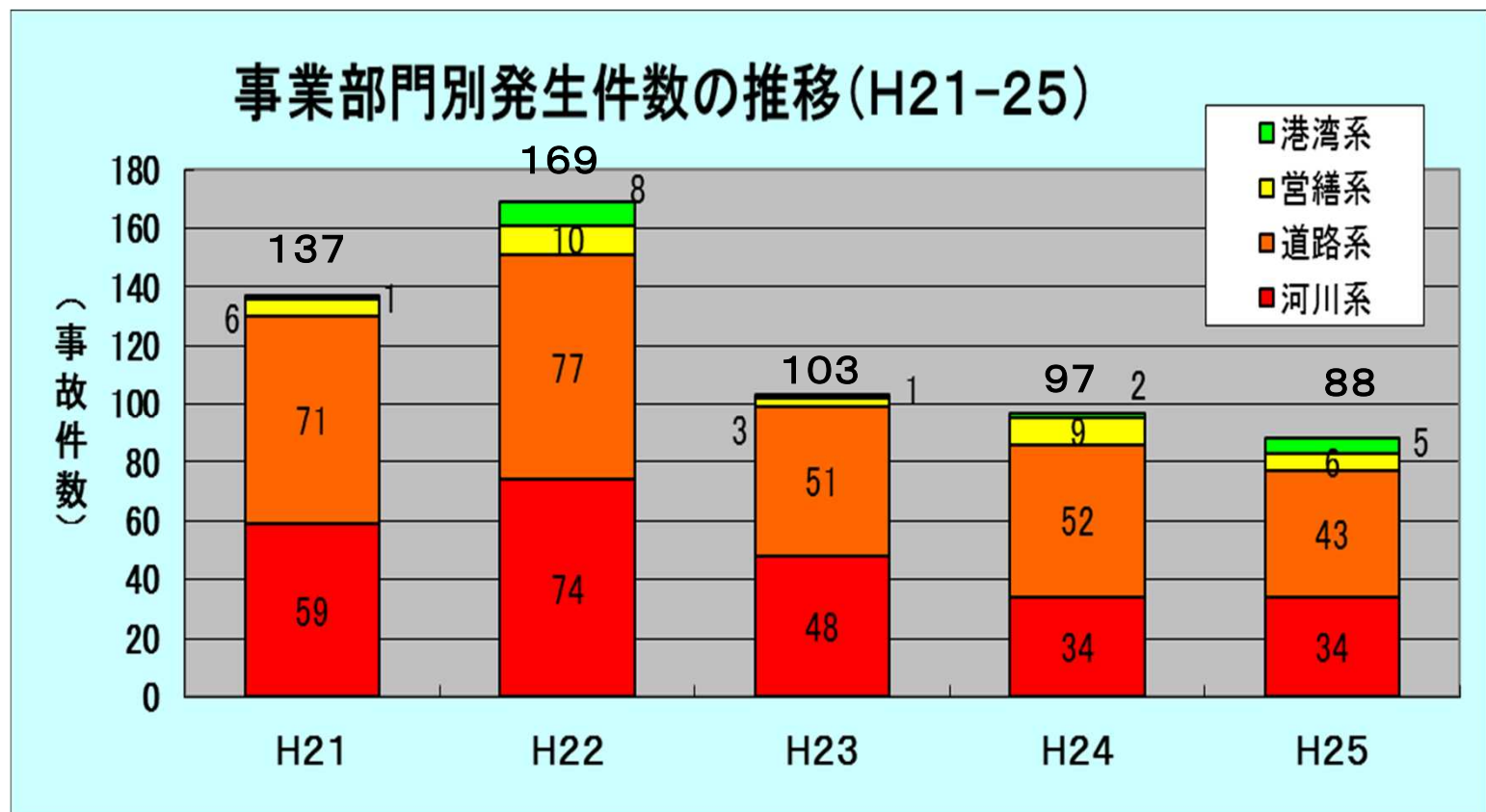
## 5. 公衆災害の事故の特徴

公衆災害の事故発生状況は、地下埋設物に起因する事故が、過去5年を通して高い割合を占めています。H25は、架空線損傷の割合が約10%増加しています。



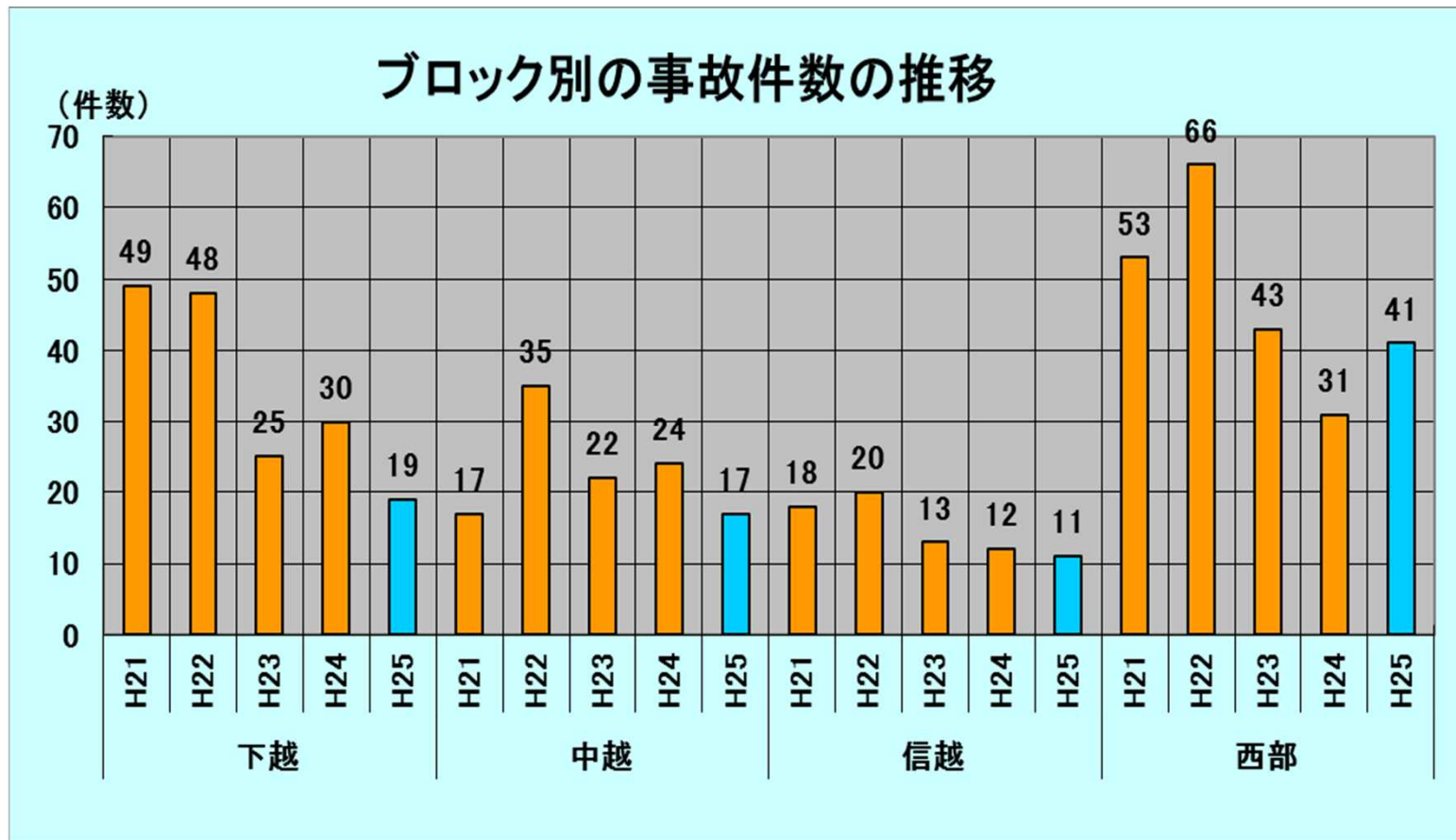
## 6. 事業部門別事故発生件数

事業部門別事故発生件数のH21からH25の推移は、以下のとおりです。



## 7. 地区別の事故発生件数

地区別の事故件数推移は、以下のとおりです。



下越：新潟市以東および福島県の事務所

中越：信濃川河川事務所以南の事務所

信越：上越および長野県内の事務所

西部：富山・石川・岐阜にある事務所

### 建設工事事故データベース(SAS)の登録を忘れずに

- ・建設工事事故データベース(SAS)への登録をお願いいたします。
- ・休業4日以上の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。
- ・建設工事事故データベース(SAS)は、地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。

ホームページ

<https://sas.hrr.mlit.go.jp/>

